

教育と医学の会 シンポジウム

主催：教育と医学の会
共催：九州大学教育学部
慶應義塾大学出版会

日時 2016年11月12日(土)
13:00~16:00

会場 九州大学医学部
保健学科本館5番講義室
福岡市東区馬出3-1-1
(地下鉄箱崎線「馬出九大病院前駅」下車。
大学東門経由、講義室まで徒歩約10分)

参加費 無料

問合せ先 慶應義塾大学出版会
「教育と医学」編集部
Tel.03-3451-5665 Fax.03-3454-7024
〒108-8346 東京都港区三田 2-19-30

テーマ

子どものこころの安全基地を育てる — アタッチメントをめぐる —

近年、様々な子どもの問題行動の背景にある、乳幼児期の養育者とのアタッチメント(愛着)の障害が注目されています。アタッチメントによって子どものこころの安全基地が育まれ、そこから親子関係をはじめ対人関係が形成されていきます。

アタッチメントと子どものこころの成長をめぐる、児童精神医学、発達心理学、児童福祉領域の専門家をお招きして、お考えをうかがいます。ぜひ、お誘い合わせのうえ、ご参加ください。



内容

コーディネーター 黒木俊秀 (九州大学大学院人間環境学研究院教授、精神科医師)

- 話題提供 ● **アタッチメント理論と発達精神病理学**
山下 洋 (九州大学病院子どものこころの診療部特任講師、児童精神科医)
- **社会的養護におけるアタッチメントの問題**
松崎佳子 (九州大学大学院人間環境学研究院教授、臨床心理士)
- **育み・育まれながら生きる：「アタッチメント」の活かし方**
當眞千賀子 (九州大学大学院人間環境学研究院教授、臨床発達心理士)

質疑応答 参加者と話題提供者

申込方法 事前に下記のホームページからお申し込みください(当日参加も可)。
(事前にお申し込み下さった方を優先してご案内いたします)
<http://www.keio-up.co.jp/kup/kyouiku/> (受付締切:11月8日)